

2015

9
・
1

No.1301



広報

まつやま

一人でも多くの人を笑顔に 幸せ実感都市 まつやま



今月のことば

ありやまー! こりやまー!!
まつちやまー(松山)!!!

2000年 「だから、ことば」大募集 ことばのスマイル賞

松山まつり 50回目の夏

優雅に、力強く



8月7～9日に開催された「松山まつり」。厳しい暑さ、雷雨の中、約7,000人が野球拳おどりや野球サンバを熱演しました。また今年は50回を記念しディズニーの仲間たちのパレードや子ども部門が開催され、子どもたちの笑顔あふれる3日間でした。

この広報紙は再生紙を使用しています

主な内容

- 松山まつり 写真特集 2面
- 財政特集 4・5面
- 国体特集 11面
- 北条鹿島 Love Song フェスティバル 12面
- 市民ガイド 8～10面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション推進課
毎月1日・15日
☎948-6705 ☎934-2578
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

野球拳おどりの開会式で演舞する澤田さん(8月7日)



長年にわたり、野球拳おどりの普及と松山まつりの発展に尽力された方々に対し8月8日の野球拳おどり開会式で、野志市長から感謝状が贈られました。

◆感謝状を贈られた皆さん
澤田剛年さん(本家野球拳4代目家元)、藤間藤弥さん(藤間流藤々会)、松山商業高等学校野球部OB会



野志市長から感謝状を受け取る藤間さん(右)

功労者に感謝状を贈呈



夏の甲子園優勝盾を持ちながら野球拳おどりに参加する松山商業野球部OB(8月8日)

昭和三十九年の第1回当時は「松山おどり」という名称でした。踊りも「野球拳おどり」ではなく、「伊予の松山鼓踊り」という鼓を打ち鳴らしながらの踊りでした。その後、昭和四十四年、夏の甲子園で松山商業高等学校野球部が延長18回再試合の激闘の末優勝を成し遂げ、野球熱が最高潮に達する中、昭和四十五年の第5回から「野球拳おどり」が登場。そして昭和四十七年の第7回に名称が「松山まつり」に改称され今日に至っています。

なお、今回は昭和四十四年優勝時のメンバー大野純史さんが審査員に加わり、華を添えました。

松山まつり半世紀の歩み